

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟  
 〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17  
 電話・FAX (082) 296-5597  
 E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp  
 URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>  
 郵便振替口座 01380-6-37958

## 全員協議会開催

### アジア山岳大会、最善を尽くした

#### 西区民文化センター

日時：1 月 28 日 (水) 19:00~20:30

場所：広島市西区民文化センター

議題：

- 1、アジア山岳連盟 (UAAA) 総会・創立 20 周年記念式典・山岳平和祭報告 (よかったこと、改善すべきこと、今回の経験を今後の岳連活動にどう生かすか。)
- 2、国際部の現状と課題
- 3、各加盟団体が抱えている現状と課題
- 4、各部からの報告と計画

#### 1、アジア山岳連盟大会について 宮島ハイキング 250 人参加

- ①6 か月前に決定したため、十分な準備ができなかったが、主管団体としては最善を尽くした。
- ②外国人は別として、各団体が参加費を全額出せないという事があったが、何とか終えた。
- ③宮島ハイキングは受付 250 人 (うち外人 60 人) よくわからないまま宮島に集まった。9・28 に勉強会を行い通訳を希望したが、予算がないので通訳は配置されなかった。労山に依頼してうまく対応していただいた。
- ④「輸送」は結局 1 人ですべてをやった。スタッフか

ら手伝って貰った。宿泊人数、乗車人数が当日にならないと確定しないのには困った。開会式などのときに全員に諸注意をすることができなかったか。

⑤会議については、全般的にはよかった。

運営要項を作って配布したので良かった。

⑥報告書について準備をしているが、予算との関係で印刷形態など未定である。

⑦原爆慰霊碑への献花について、その後 3 週間世話をした人がいる。これは是非「報告書」に掲載してほしい。



協議会に参加した皆さん 西区民文化センター

写真提供 小林敏行 (可部山岳会)

#### 2、国際部の現状と課題

①国際部長は、豊田事務局長が兼ねているので選任を早く決めたい。山岳辺境文化セミナーの講師を早く決定してほしい。

#### 3、各部からの報告と計画

①CERO ボルダークンペ 2015 開催：

日時：2015・4・5 (日) 開催

会場：クライムセンターCERO（府中町茂陰  
電話 082-236-3401）県クライミング大会、国体予選  
を兼ねているので、是非参加してほしい。

②平成 27 年度普及部の活動予定が紹介された。雲月  
山山焼きボランティア（4・1（土））・第 14 回ひろ  
しま山の日県民の集い（6・6（土）～6・7（日））

③2014 年度指導部事業計画：講習会・研修会、日山  
協主催研修会・講習会、クライミングスクール・登  
山教室・岳連例会山行などの紹介があった。

④研修会では新しい技術があるので、ぜひ受講してほ  
しい。

⑤第 23 回比婆山国際スカイランポスター配布。

**出席者（順不同）**

京オ 昭（会長）・岡谷良信（副会長）・野島信隆（副  
会長）・村井 仁（県庁山の会）・福永やす子（東広島  
山の会）・平田三男（可部山岳会）・小林敏行（可部山  
岳会）・小方重明（広島三峰会）・佐藤 建（CERO ク  
ライミングクラブ）・後藤裕司（広大山の会）・仲井正  
美（ひこばえ）・小田里子（JAC）・尾道憲二（JAC）・  
新山まゆみ（JAC）・石田諫（広島やまびこ会）・岩内  
秀昭（クライムハイ）・永津信吉（マツダ）・杉本陽二  
（マツダ）・渡邊大輔（東広島山の会）・久保英彰（東  
広島山の会）・正野嘉宏（元指導員）・木村孝治（マツ  
ダ）・寺田正弘（タンネン）以上 23 名

**国体・インターハイ合同報告会開催**

日時：1 月 20 日（火）19:00～

場所：ホテルセンチュリー広島 21

国体・インターハイ合同報告会が 1 月 20 日（火）  
午後 7 時から「ホテルセンチュリー広島 21」で開催  
された。45 名が出席した。当日は、京オ会長の挨拶、  
祝辞は石井道代県教委スポーツ振興課長、乾杯の発声  
は吉永孝治県体協常務理事からあった。

叙勲、県体育功労賞、国体入賞は「もみじ 136 号」  
で紹介したので、ここではインターハイの入賞高校に  
ついて紹介する。

**団体女子、基町高校 2 位となる**

—平成 26 年度全国高等学校登山大会

期日 平成 26 年 8 月 8 日（金）～12 日（火）

会場 神奈川県箱根山塊（金時山・三国山・神山等）

**団体女子 広島市立基町高校 2 位（98.8 点）**

監督：小茂田由美

選手：山根萌加・瀬戸田和佳奈・佐伯玲美・河盛泉美

**団体男子：広島学院高校 4 位（97.9 点）**

監督 鍵本和也

選手：金澤勇児・豊島拓・太田航平・河田祐希

最近 5 年間の広島県の成績

年 度	高 校 名	順位・点数
平成 26 年上記		
平成 25 年度	男子 修道	5 位(97.1 点)
くじゅう山系	女子 基町	18 位 (93.3 点)
平成 24 年度	男子 修道	2 位 (99.3 点)
新潟 苗場山・	女子 基町	24 位 (88.1 点)
平標山・三国峠		
平成 23 年度	男子 修道	2 位 (96.9 点)
青森 岩木山・	女子 清心	24 位 (87.2 点)
八甲田山		
平成 22 年度	男子 修道	3 位 (98.2 点)
鹿児島・宮崎県	女子 清心	20 位 (90.4 点)
霧島山系		



全員協議会の風景 1・28 西区民文化センター  
写真提供 小林敏行（可部山岳会）

## 岳連短信



広島最初のガイドブックか

## 1、「広島をめぐる山と谷」1948年刊行

おそらく戦後最初の刊行と思われる登山案内とハイキングコース紹介の本が見つかった。故伊藤祐道氏（広島山岳会）の遺族からこの程山岳連盟に寄贈された。

著者の加藤武三氏は「私のように山を愛する友の前に捧げたいと祈念した所以は、過去において、いまだまとまった案内所一冊もないために、しばしば山の状況を聞かれることが多くなるにつれて是非何とかしなければと考えた為にも依るが、私の愛する故郷の山々を、もっと多くの人に知って頂きたい為であった。」（自序）と述べている。

広島山岳会長町井 剛氏は「国土を知らんと欲せばまづ郷土に精通しなければならない。由来中国地方は高岳美峻嶺に恵まれていないけれど「スポーツ」としての登山の道に踏み入らんと欲せば、まず低山より始めなければならない。況や郷土の山や溪谷には中国背梁の山々や三段峡、帝釈峡を初め、天下に誇るべき景勝少なしとしないのである。」（序）と述べている。

内容は広島市近郊の山と谷約 50 余り、概念図を付して紹介している。恐らく広島最初の山のガイドブックであろう。（「広島をめぐる山と谷」広島山岳会昭和 23 年 10 月 10 日発行 60 頁）

## 山の風景 49

伊良谷山 庄原市西城町 2015・2・14

写真提供 森 智昭（ひこばえ）



## 岳連短信

## 2、広島市長祝辞（UAAA 祝賀会）

2014 年 11 月 23 日開催された「UAAA 創立 20 周年記念祝賀会（リーガロイヤルホテル広島）の広島市長祝辞の英文は次のとおりである。（日本語はもみじ 135（2014・12・10）に掲載しています。）

## Mayor's Speech

Since the heavy rain-induced landslide disaster on August 20 in Hiroshima, in order to assist those affected and to reconstruct and revive the affected areas, we have been receiving support from many people not only from Hiroshima but from around the country. I would like to express my sincere gratitude for their warm support.

I extend my heartfelt congratulations on the grand holding of the ceremony for the 20<sup>th</sup> anniversary of the establishment of the Union of Asian Alpine Associations (UAAA). The UAAA, over the 20 years since its founding in 1994, has aimed to promote and progress the sport of alpineering, and is actively making efforts towards preservation of the mountains and natural environment, and spreading information about safe alpineering practices. I am truly grateful for the efforts of this organization over many years, and extend my deepest respect to all its members and individuals

involved who have worked to build up the prosperity and tradition that the UAAA holds today.

I personally believe that sports can be divided into two different types. The first is in which one battles with oneself and tests one's own limits, and the second involves the presence of an opponent, and the use of various implements. Two major sports of this second variety in Hiroshima include football and baseball. Alpineering, however, is of the first variety, which is characterized by testing the limits of one's own abilities, rather than battling an opponent. It is a battle with oneself and tests how well one can adapt oneself to Mother Nature and learn to manipulate it.

I heard that all of you have learned about peace in Hiroshima today. I also believe that alpineering, which forces one to build up endless self-discipline, to commune with nature, and to always be reflecting on oneself, is a sport that is appropriate for creating opportunities to think about peace. Alpinists face nature – a force profoundly greater than that of man, test their own skills, and learn to harmonize with nature considering their limits. The same mentality that is built up through this kind of sport is the one which is employed in creating peace. A person who learns to harmonize with nature learns to harmonize with other people, and because of this, does not seek out war. The act of seeking to harmonize with nature, in my belief, leads to one's internal strive for peace and serenity. As such, I hope that this visit to Hiroshima serves as a chance for all of you to touch upon the spirit of Hiroshima, which is to not let anyone else ever experience the cruelty of an atomic bombing taking the lives of many people in an instant, and would be very grateful if you could bring this thought back home with you, putting it into practice in both your daily lives and alpineering activities.

Today, we have many individuals from Asian countries visiting, amidst a difficult political situation. I would like to extend my sincere hope, as a representative of Hiroshima, that everyone's daily activities in wishing for peace will serve as a bridge to peace in the Asia region, or as a path towards bringing peace about. In closing, I pray for the good health of everyone involved and the further development of the Union of Asian Alpine

Associations. Everyone, thank you again for coming today.

November 23, 2014

MATSUI Kazumi  
Mayor  
The City of Hiroshima

### 3、広島県山岳連盟の会員募集しています

安全登山の普及と、山と山のつながりと創造をめざしてあなたも広島県山岳連盟の会員になりませんか。

#### 主な活動

\* 国体山岳競技の運営 \* 日本体育協会公認山岳指導員の育成 \* 自然保護指導員の育成 \* 登山での国際交流 (大邱市山岳連盟との交流) など

#### 一般の方に向けた事業

\* 登山教室やクライミングスクールの開催 \* 山岳救助法や救助法講習の開催 \* 岳連例会山行の実施 \* ジュニアクライミングスクールの実施 \* 山岳・辺境文化セミナーの開催 \* 比婆山国際スカイランの主催 \* 登山ツアーなどへの指導員派遣等

#### 会員になりたい方は

1 人でも個人会員として申込みいただければ会員とれます。個人会員 年会費 3,000 円

#### 申込・問合せ先

別紙の加入申込書に必要事項を記入し山岳連盟事務局 (もみじ表紙を参照) に送付してください。

#### 年会費振込先

「金融機関」: ゆうちょ銀行 「店名」 五一八 (読みゴイチハチ) 「店番」 5 1 8 「預金種目」 普通預金 「口座番号」 3 5 2 6 5 5 「口座名義人」 シヤ) ヒロシマケンサンガクレンメイ

#### すでに山に行くグループがあれば

代表者が加盟団体として申込みいただければグループ内の全員が広島県山岳連盟の会員とれます。団体会員 年会費 20,000 円～ 人数により金額が変動します。詳しくは事務局までお問い合わせください。

#### 賛助会員も随時募集しています。

私たちの活動を支援したいと思われる方は一人でも

賛助会員として申込みいただければ会員となります。

個人：一口 3,000 円 団体・法人 一口 20,000 円

#### 加盟団体一覧

広島山岳会 広島山稜会 広島市役所山岳部 広島やまびこ会 パブコック日立呉事業所日立会山岳部 竹原山岳会 可部山岳会 福山山岳会 広島県庁山の会 マツダ親和会山岳部 広島大学山の会 広島県高体連登山専門部 広島修道大学山岳会 広島山想会 福山市役所山岳部 三原山の会 タンネンクラブ (社) 日本山岳会広島支部 東広島山の会 登山教室同窓会「ひこばえ」 山を歩く会庄原 広島大学体育会ワンダーフォーゲル部 広島三峰会 白木愛山会 岳友クラブ 宮島太郎の会 広島パイオニアクラブ 登山教室同好会「DAT」 広島登山研究所「クライムハイ」 山ガールクラブ ジュニアアルパインクラブ CERO クライミングクラブ クライミングスクール同好会「FCC」

#### UAAA 山岳平和祭から



写真上 UAAA 総会にて 2014・11・25

写真下 平和公園慰霊碑前 2014・11・23



#### 山の風景 50

阿武山の「オロチ」2014・8・20の土砂災害の爪跡  
写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



#### 平成 26 年度事業計画

- 3・4 (水) 普及部会
- 3・7 (土) 例会山行合同・宝仏山 (鳥取県日南町)
- 3・7 (土) ~8 (日)  
中国地区山岳連盟連絡協議会 (鳥取県)
- 3・11 (水) 運営会議
- 3・11 (水) ビギナーズレッスン (県立体育館)
- 3・14 (土) クライミングスクール閉会式 (県立体育館)
- 3・25 (水) スカイラン実行委員会

#### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美